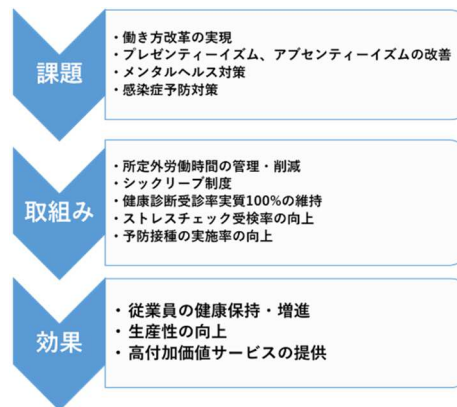


【健康経営の成果】

1. 健康経営の貢献度・影響の分析結果

当社は、従業員の健康と安全が企業の持続的な成長に不可欠であると考え、健康課題の解決のための取り組みを継続的に実施しております。

これらの取り組みは、組織の活性化、生産性の向上、従業員の健康増進・活力向上等に貢献しており、ひいては、売上高や営業利益にも好影響を与えております。



2. 健康経営全体としての KPI 及び成果

① 定期健康診断受診率

健康診断は、従業員の健康維持や病気の予防・早期発見に資するものであるため、当社では、一般健康診断受診率実質 100%の維持に向けて取り組んでおります。

	2018 年度	2019 年度
定期健康診断実質受診率	100%	100%※

※新型コロナウイルス感染症の流行を考慮した受診率

② ストレスチェック受検率

ストレスチェックは、メンタルヘルス不調の予防や対策に資するものであるため、当社では、ストレスチェック受検率実質 100%を目標に受検率向上に取り組んでおります。

	2018 年度	2019 年度
ストレスチェック受検率	82.9%	89.2%

③ 所定外労働の発生率

所定外労働時間の削減は、従業員の健康と安全を守り、企業の持続的な成長に資するものであるため、当社では、従業員の所定外労働(45h 超)の平均発生率を 2%未満にすることを目標としております。

	2018 年度	2019 年度
所定外労働(45h 超)の発生率	3.0%	2.3%

3. 健康経営の個別施策に関する経年での取組成果

① 所定外労働時間の管理・削減

所定外労働時間は減少傾向にあり、従業員の健康状態や働きがい、エンゲージメントにも好影響が表れております。また、プレゼンティーズム・アブセンティーズム、離職率が改善されております。

②シックリーブ制度

法定の有給休暇の他、体調不良時に利用することができる有給のシックリーブ（病気休暇）制度を導入した結果、従業員の健康状態やプレゼンティーズム・アブセンティーズムが改善しております。

③健康診断受診率実質 100%の維持※

一般健康診断受診率実質 100%を維持するよう取り組んだ結果、従業員の健康状態をより具体的に把握できるようになっただけでなく、プレゼンティーズム・アブセンティーズムを改善するための施策の検討にも役立っております。

※新型コロナウイルス感染症の流行を考慮した受診率

④ストレスチェック受検率の向上

ストレスチェックの受検率は上昇傾向にあり、その結果、従業員の健康状態をより具体的に把握できるようになっただけでなく、高ストレスになりがちな組織を支援するための施策の実施によりプレゼンティーズム・アブセンティーズム、離職率が改善されております。

⑤予防接種の実施率の向上

インフルエンザ予防接種の社内実施及び費用負担等の対策実施の結果、インフルエンザ予防接種の実施率は上昇傾向にあり、その結果、アブセンティーズムも改善傾向にあります。

4. 社外からの評価

当社は、優良な健康経営を実施している法人として健康経営優良法人認定制度であるホワイト 500 に認定されております。

「健康経営優良法人認定制度」とは、経済産業省と日本健康会議が共同で実施し、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

なかでも「ホワイト 500」は、健康経営優良法人（大規模法人部門）認定法人のなかで、健康経営度調査結果の上位 500 法人のみが認定されるものです。



以上